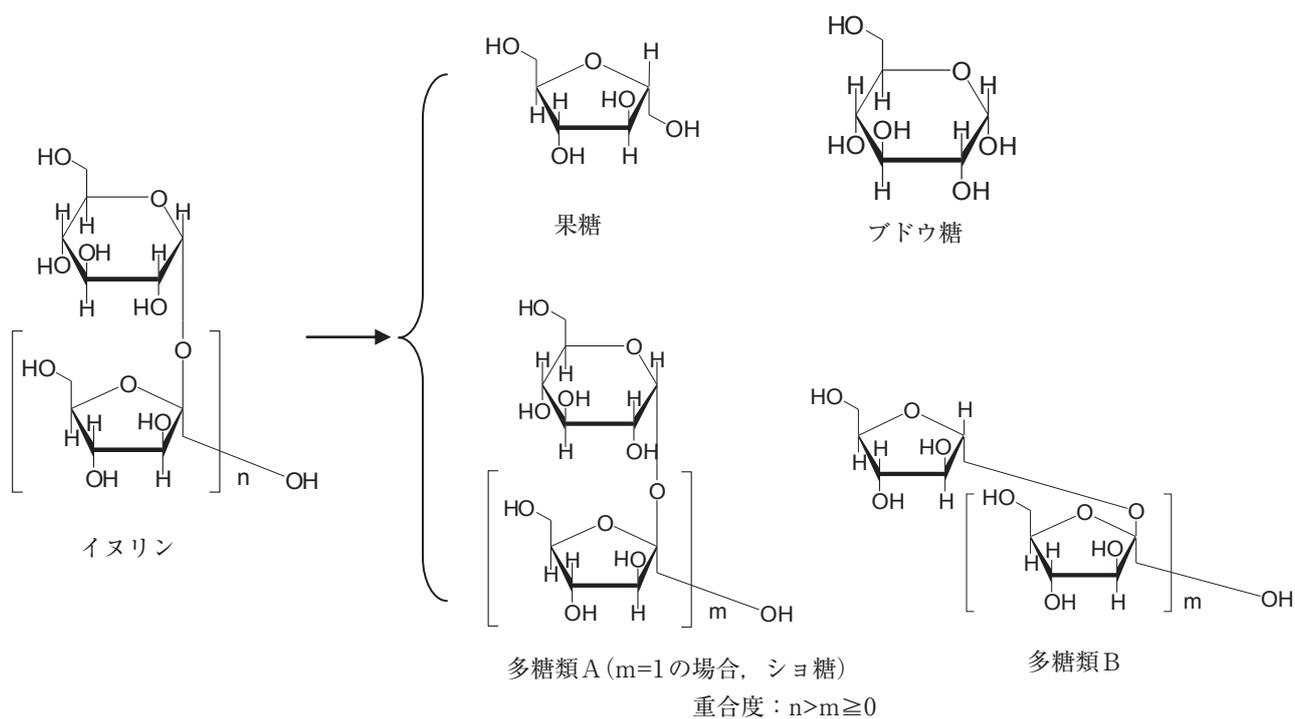


Ⅲ 有効成分に関する項目

1. 有効成分の規制区分	該当しない
2. 物理化学的性質	<p>(1) 外観・性状 イヌリンは白色の粉末で、においはない。</p> <p>(2) 溶解性 水、エタノール（99.5）及びアセトンにほとんど溶けない。</p> <p>(3) 吸湿性 相対湿度の上昇に伴う吸湿率の増加を示し、吸湿性が認められた。 （25℃、7日間保存）</p> <p>(4) 融点（分解点）、沸点、凝固点 該当資料なし</p> <p>(5) 酸塩基解離定数 該当資料なし</p> <p>(6) 分配係数 該当資料なし</p> <p>(7) その他の主な示性値 $[\alpha]_D^{20} = -35.0 \sim -38.0^\circ$</p>
3. 有効成分の各種条件下における安定性	イヌリンを下表条件下に保存し、安定性試験を行った。

試験条件	保存条件			保存形態	保存期間	結果	
	温度	湿度	光				
長期保存試験	25℃	60% RH	暗所	ポリエチレン・アルミ二重袋	36ヶ月	pHの低下傾向及び還元糖のわずかな増加	
加速試験	40℃	75% RH	暗所	ポリエチレン・アルミ二重袋	6ヶ月	変化なし	
苛酷試験	温度	50℃	-	暗所	ポリエチレン・アルミ二重袋	3ヶ月	わずかな pH の低下及び還元糖のわずかな増加
		60℃					
	光	25℃	-	昼白色蛍光ランプ (D65 蛍光ランプ) 2500 lx (ルクス)	ポリエチレン袋 ポリエチレン・アルミ二重袋	20日間	わずかな pH の低下

強制分解による生成物



加水分解により果糖、ブドウ糖及びショ糖のほか、末端の構成単糖が脱離した多糖類A及びBが推定された。

4. 有効成分の確認試験法

(1) 呈色反応

レソルシノール溶液を加え、加温するとき、赤色を呈する。

(2) 沈殿反応

フェーリング反応による沈殿反応。

5. 有効成分の定量法

紫外可視吸光度測定